

日韓交流報

2017年(平成29年)10月31日(火曜日) 12版 総合 2



平成29年
8, 9, 10
月号

平成29年10月30日、ユネスコは世界記憶遺産に朝鮮通信使に関する記録と上野三碑を登録することを決めました。関連記事は、本紙終面をご覧ください。



朝鮮通信使「世界の記憶」

ユネスコ「上野三碑も登録」

【パリ＝竹田佳彦】国連教育科学文化機関(ユネスコ)は三十日、歴史的な文書などを対象とする「世界の記憶」(世界記憶遺産)に、名古屋市の蓬左文庫を含め、栃木、長崎など十二都府県と韓国にある江戸時代の外交資料「朝鮮通信使に関する記録」と、群馬県高崎市の古代石碑群「上野三碑」を登録することを決めた。＝関連2面

杉原リストは不登録

【パリ＝竹田佳彦】ユネスコは三十日、歴史的な文書などを対象とする「世界の記憶」(世界記憶遺産)に、名古屋市の蓬左文庫を含め、栃木、長崎など十二都府県と韓国にある江戸時代の外交資料「朝鮮通信使に関する記録」と、群馬県高崎市の古代石碑群「上野三碑」を登録することを決めた。＝関連2面



朝鮮通信使の行列を描いた「朝鮮通信使絵巻」の部分(長崎県立対馬歴史民俗資料館提供)

ユネスコのボコバ事務局長が登録を最終決定した。朝鮮通信使は朝鮮国王が徳川将軍家に派遣した使節団。日韓の関係自治体や民間団体が共同で、外交文書など計二百三十三点の登録を申請した。上野三碑は飛鳥、奈良時代に建てられ、国特別史跡に指定されている山上碑、多胡碑、金井沢碑の総称で、高崎市などが申請した。

ユネスコの日本国内委員会によると、第二次大戦中



世界の記憶 国連教育科学文化機関(ユネスコ)が重要性を認め、保護と公開の対象とする文書や絵画、映像フィルムなど。各国政府や民間団体の申請を受け、2年に1度、登録を審査する。2015年の審査終了時点の総数は348件。同じユネスコの世界遺産、無形文化遺産と違って審査ルールを定めた条約はなく、ユネスコの自主事業として運営されている。

「日韓友好の歴史に光を」

朝鮮通信使登録 草の根交流結実

朝鮮通信使は、江戸時代の日韓両国の友好関係を象徴する存在だ。関係資料を「世界の記憶」に登録する取り組みも日韓共同で進められた。両国には慰安婦問題や竹島領有問題のような障壁もあるが、関係者は「友好の歴史に光が当たれば」と期待している。

上野三碑 漢字・仏教の受容史

群馬県高崎市にある上野三碑は、国内に現存する古代石碑の中でも比較的古い時代に属する。碑文はいずれも漢字で刻まれ、中国の漢字文化や政治制度、仏教の受容の歴史を物語る。群馬県立女子大の熊倉浩靖教授(古代日本史)は「古代だけでなく、近代の東アジアの交流にもつながる貴重な資料だ」と話す。



「上野三碑」の(左から)「多胡碑」、「金井沢碑」、「山上碑」

文書や絵巻、私的に交わされた文書などが「世界の記憶」に申請された。登録に向けた活動は、通信使にゆかりのある日本の自治体や民間団体でつくる朝鮮通信使縁地連絡協議会と、韓国の釜山文化財団が担った。協議会は、通信使がたどった道歩く「友情ウォーク」なども開催して草の根交流に取り組む。担当者は「個人や団体の交流で生まれた信頼関係が登録の力になった」と話す。

も多かった。戦後、米軍側の破壊を恐れた住民が、碑を地中に埋めて隠したというエピソードもある。山上碑は、僧侶が母親の供養のため飛鳥時代の六八一年に建立。奈良時代の七二六年に地元の豪族が建てた金井沢碑には、仏教信仰に基づき一族の繁栄を願う言葉が刻まれている。山上碑の文字は漢文とは異なる日本語の語順で記されており、多胡碑記念館(高崎市)の和田健一学芸員は「伝来した漢字を自分たちのものにしていった過程が分かる」と説明する。



協会活動の報告・予定

- 平成29年8月30日 第49回 韓日歴史・文化フォーラム (堀江会長が出席されました)
- 平成29年9月19日 第2回 理事会『平成28年度決算報告等について』 (於：札幌かに本家 栄中央店)
- 平成29年9月24日 第18回 全日本空手道選手権大会 (当協会が協賛し、堀江会長が出席されました)



平成29年8月15日、東海市芸術劇場にて民団愛知創団70周年記念『第72周年 8.15光復節 記念式典』が開催され、堀江会長、成田理事、大島理事、文岡理事、高山理事が出席されました。



在日本大韓民国国民団愛知県地方本部は、今年で創団70周年を迎えられ、平成29年10月29日にウェスティンナゴヤキャスルで開催された記念式典に堀江会長が出席されました。

— 日韓文化講演会 —

朝鮮玩具から見た戦前の韓流ブーム

講師：佛教大学 歴史学部 歴史文化学科 教授 鈴木文子

主催：名古屋日韓親善協会 日にち：2017年10月13日（金） 場所：名古屋国際センター



鄭煥星総領事 名古屋日韓親善協会 齊藤美会長

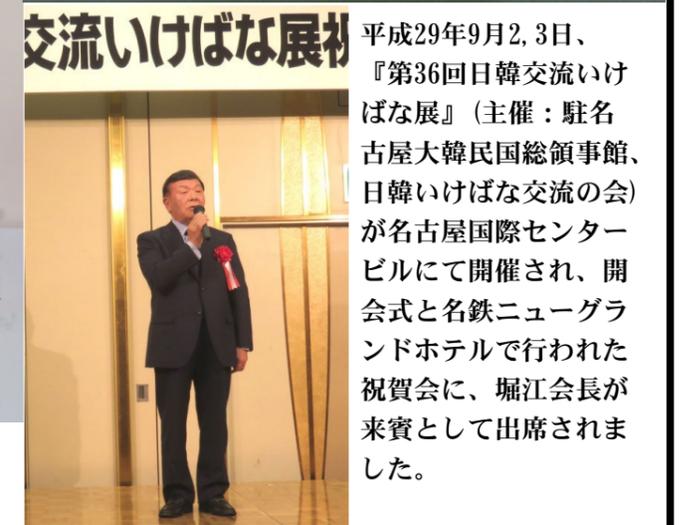


堀江 齊藤美 鈴木文子

平成29年10月13日、名古屋国際センターにて行われた文化講演会『朝鮮玩具から見た戦前の韓流ブーム』（主催：名古屋日韓親善協会）に堀江会長が来賓として出席されました。



上：日韓いけばな交流の会 齊藤沙映会長の作品
右：駐名古屋大韓民国総領事館 鄭煥星総領事令夫人 金眞淑様の作品



平成29年9月2, 3日、『第36回日韓交流いけばな展』（主催：駐名古屋大韓民国総領事館、日韓いけばな交流の会）が名古屋国際センタービルにて開催され、開会式と名鉄ニューグランドホテルで行われた祝賀会に、堀江会長が来賓として出席されました。



ドキュメンタリー映画 **かけはし**

空 前の韓流ブームから、反韓・嫌韓のヘイトスピーチへ。この十年あまり、愛と憎悪のはざまに激しく揺れ動いてきた日韓関係だが、そんな喧嘩から離れたところで、ひっそりと、しかし着実に受け継がれている国際交流の絆がある。

2001年1月26日、JR新大久保駅で、線路に転落した日本人を助けようとしたカメラマンの関根史郎さんと韓国人の日本語学校生のイ・スヒョン（李秀賢）さんがホームから飛び降り救助にあたったが、三人とも帰らぬ人となった。スヒョンさんが外国人であったことからこの事件は大きな話題を呼び、来日したスヒョンさんのご両親のもとには日本全国から弔慰金が寄せられた。

ご両親は深い悲しみの中で、生前「日韓のかけはしになりたい」と言っていた息子の遺志を継ぐため、アジアからの日本語学校生を支援する奨学会の設立に関係者に懇願し、受け取った弔慰金を寄付した。「息子と同じように、母国と日本のかけはしになりたい」との思いで来日した若者たちにこれを支給してください。こうして発足した奨学会（特定非営利活動法人エルエスエイチアジア奨学会）は、これまでに18の国と地域から来日した790名の留学生に奨学金を手渡してきた（2016年現在）。最近では、日本の小学校の教科書にスヒョンさんのことが掲載されるようになり、2015年6月にはご両親に対し、これまでの活動を顕彰して日本政府より「旭日双光章」が授与された。

本作品『かけはし』第1章では、日韓のかけはしになることが夢だったスヒョンさんの人生を関係者インタビューによって浮かび上がらせると共に、彼の死後、ご両親と奨学会が行った留学生支援活動や奨学金を受けた留学生の姿を描いている。また第2章では、日韓関係正常化から50周年を迎えた2015年に釜山から来日した韓国の22名の大学生がスヒョンさんのゆかりの地を訪れ、日本の若者や一般人と交流した1週間の旅に密着し、彼らの心の変化に迫っていく。

スヒョンさんが私たちの心に残したものは？ 母国と日本の架け橋になる夢を胸に、様々な国や地域から来日している人々の姿を通して、国を超えた人と人の心の「かけはし」を描いていきたいという思いから本作品を企画しました。

I am a Bridge! 国籍・民族・文化・習慣・世代など様々な違いを超えて「人は誰もが心と心を繋ぐかけはしになれる!」。「かけはし」の取材を通して出会った世界の若者たちの姿から強く感じたことです。

母国に帰った後も、日本がもう一つの故郷として愛される国であったなら、そして出会いによって生まれる新しい視点、より多様な可能性と心豊かな社会を生み出さうとするのなら、世界の人々と繋がり育まれる友情は、平和で魅力ある日本と世界を創り出していくことでしょう。

日本全国でのドキュメンタリー映画『かけはし』上映に向けて、皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

ドキュメンタリー映画『かけはし』企画・プロデューサー：中村里美

平成29年9月16日、『第41回日韓友好交流会』（主催：日韓友好交流会）は、民団愛知中村支部にて映画『かけはし』上映会が開催され、堀江会長が出席されました。

2017年7月6日(木)

中日新聞